平成 31 年 3 月 26 日発行

有害プランクトン情報　（平成 30 年度 － No. 12）

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によっては，魚類や二枚貝などに影響を与えるので，毎月 1 回有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

○ 調査日　沖合　　3 月　第 1 回　内湾（8 地点）　3/1　内房（7 地点）　3/1
　　3 月　第 2 回　内湾（8 地点）　3/19　内房（7 地点）　3/20
　貝類漁場内　九十九里 3/19　千葉北部 3/15　木更津北部 3/12　木更津南部 3/6　富津 3/6

【有害プランクトンの出現状況】

○ シャットネラ属，シュードシャットネラ属，ヘテロシグマ属，カレニア属は確認されませんでした。
○ 赤潮（透明度 1.5 m 以下，pH8.5 以上，酸素飽和度 150 %以上）は確認されませんでした。
　※ **シャットネラ属は 1 細胞/mL，ヘテロシグマ属は 1000 細胞/mL，カレニア属は 100 細胞/mL を超えた場合に注意報を発出します。**

【貝毒プランクトンの出現状況 】

○ 麻痺性貝毒原因プランクトンは確認されませんでした。
○ 下痢性貝毒原因プランクトンの最高密度は，ディノフィシス　アキュミナータが 3/1 にアクア北で 1.55 細胞/mL でした。なお，同種は 5/22 に羽田沖で 19.35 細胞/mL まで増加しましたが，被害情報はありませんでした。他種はディノフィシス　ロツンダータが 3/19 に羽田沖及びアクア北で 0.15 細胞/mL，ディノフィシス　フォルティが 3/20 に浦賀水道で 0.05 細胞/mL でした。（貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載）

○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

3/1　内湾　珪藻　キートセロス属，スケレトネマ属，タラシオシラ属
　　内房　珪藻　キートセロス属，スケレトネマ属
3/19　内湾　珪藻　スケレトネマ属（図 1）
3/20　内房　珪藻　キートセロス属（図 2）

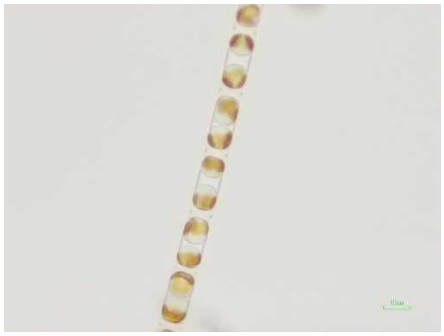
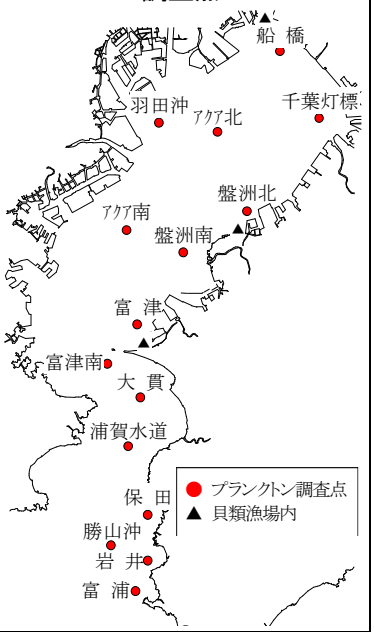


図 1　スケレトネマ属
（3/19 船橋）

図 2　キートセロス属
（3/20 浦賀水道）

調査点



連絡先 ： 千葉県水産総合研究センター　東京湾漁業研究所
〒293-0042　富津市小久保 3091　TEL 0439-65-3071　E-mail　futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp